

平成27年10月10日(土)、11日(日)に山口大学医学部附属病院主催 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムがANAクラウンプラザホテル宇部で開催されました。がん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画では、がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得することが求められています。

これを受け、当院では、ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムを開催いたしました。

2日間の研修では講義だけでなく、事例検討や、ロールプレイを取り入れて、エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護、痛みや症状のマネジメント、倫理的問題など、患者さんご家族に必要なケアを包括的に学習しました。

当院のがん性疼痛看護認定看護師の宮内看護師、山口赤十字病院からがん看護専門看護師の金子美幸看護師、徳山中央病院から緩和ケア認定看護師の佐々木文子看護師、国立病院機構岩国医療センターからがん性疼痛看護認定看護師の河村理恵看護師、緩和ケア認定看護師の西藤美恵子看護師、山口県立総合医療センターから緩和ケア認定看護師の小川佐知子看護師をファシリテーターとして迎え、当院及び県内の病院の看護師、近隣の訪問看護師25名の参加がありました。

参加者の方々からは「充実した研修でした。ぜひ、日常のケアの中に活かしていきたいと強く思いました」、「グループワークでは訪問看護師や他の施設の方々とは情報共有ができていろいろな側面からの学びになりました」、「すぐに役立つことができる内容が多く、明日から活用していきたいと思いました」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修会となり無事終了することが出来ました。

#### 《研修会風景》

